発行：プロジェクトアドベンチャージャパン　info@pajapan.com　Phone：03-3406-8804
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-6-12 ベルデ青山6F

チャレンジバイチョイス

お互いを最大限に尊重する

プロジェクトアドベンチャー NEWS LETTER #015

フルバリュー

自分の挑戦は自分で決める　（2017年1月）

始まりました！新しい一年!!

ファシリテーターズエッセイ

相手を主役にしたまま支援するということ

「『のぼれないからおしりおして！』と木登りをしている子どもに言われたら、どうやって支援しますか？」とある保育園の研修で話題になりました。押す。or押さない、という話ではなく、僕ら大人は「どうしたら子どものチャレンジを邪魔しないで、一番よい形での支援ができるか？」ということを考える必要があるということ。PAのハイチャレンジで命綱を強く引っ張ってなんとかチャレンジャーをゴールさせようと、一生懸命なビレイヤーに出会うことが多々あります。「それは誰のチャレンジなのか？」を考えることに「支援する側」は意外と慣れていないのかもしれません。クライミングウォールでも、すぐに指示を出したくなる「先生」も少なくないはず。「そう！次は右足あげて！ほらできた！」と。主役がチャレンジャーだとしたら、その人が自己選択で目標を決め、行動することが大切ですよね。PAJ20周年で担当させていただいた支援について考えるワークショップで丸太やワイヤーを渡るとき、相手の手を掴むのか、相手に掴ませるのかで支援の関係性が変わるという話が印象的でした。腕を掴まれると自分では離せない。自分で掴んでいるならば、自立できると思ったらすぐに離せる。自己選択しやすい環境や状態を作ることで、主役を尊重した支援の形に近づけるかも。それ以来、僕は幼稚園の子どもたちに「手をもって！」と頼まれたときは、とりあえず「片手？両手？」「何本指がいい？」などと聞いて受ける支援の形を自ら選んでもらったりします。そしてなによりも、この子はきっとできる！と相手を信じる気持ちがあって、初めて見守る支援ができるのではないでしょうか。「このチャレンジは、この子には難しすぎるんじゃないか？無理だろうな」と相手を疑い、見下すデビルヴォイスに負けるな、ファシリテーター！

いつも自戒の念を込めています。

（りょうちゃん／PAJ非常勤ファシリテーター）

2017上半期ワークショップスケジュール

〈TWV〉は高尾の森わくわくビレッジ（東京）です。

1月21～22日	アドバンスドAP1～ロープスコース/ローエレメント編 〈TWV〉
2月11～12日	クラスのちからを生かす：クラスを支えるフルバリュー・コントラクト 〈TWV〉
2月23～26日	テクニカルアドバンスドスキルズ（TAS）〈TWV〉
3月4～5日	ローエレメント セーフティスキルズ（LOW-SS）〈TWV〉
3月10～14日	アドベンチャープログラミング（AP）〈嬉野台生涯教育センター，兵庫県〉
3月18日	体験会 〈TWV〉
3月26日	クラスのちからを生かす：クラスをあたためるアクティビティ 〈聖学院小学校，東京〉
5月18～22日	アドベンチャープログラミング（AP）〈PAJホームコース，山梨県〉
6月3～4日	クラスのちからを生かす：体験を通して深めるふりかえり 〈TWV〉
6月16～18日	テクニカルベーシックスキルズ（TBS）〈TWV〉
6月23～25日	アドバンスドAP2～理念・理論編 〈ホテルワイナリーヒル，静岡県〉
7月28～8月1日	アドベンチャープログラミング（AP）〈PAJホームコース，山梨県〉

詳細・お申込みは：
http://peatix.com/group/28451
http://www.pajapan.com

新しい学びの扉を！